

第36回東北神経心理懇話会プログラム

・日 時：2025年2月8日(土) 13:00～ ・会 場：東北大学星陵オーデトリウム & Zoom 配信
・参加費：¥3,000,-(現地参加の学生は¥1,000,-) ・参加方法：別紙「参加案内」をご覧ください

開会の辞 13:00 東北神経心理懇話会会長 鈴木匡子(東北大学大学院高次機能障害学分野)

第1セッション 13:05～14:05 座長 大槻美佳(北海道大学)

1. Phonemic paraphasia は2つの下位分類ができるか? —音韻と音から構音への変換—

○川島広明¹⁾ 船山道隆²⁾ 稲葉貴恵¹⁾ 馬場 尊³⁾

¹⁾ 足利赤十字病院リハビリテーション技術部 ²⁾ 同 神経精神科 ³⁾ 同 リハビリテーション科

2. 認知機能低下者で観察された音節反復課題での数音節毎のチャンク現象

○苅安 誠^{1, 2)} 外山 稔³⁾

¹⁾ ヒト・コミュニケーション科学ラボ ²⁾ 潤和リハビリテーション診療研究所

³⁾ 東京工科大学医療保健学部リハビリテーション学科

第2セッション 14:05～15:35 座長 今村 徹(新潟医療福祉大学)

3. 大脳皮質基底核症候群の拙劣症 —状況により変化する手指の動き—

○小川七世¹⁾ 柿沼一雄¹⁾ 勝瀬一登^{1, 2)} 伊関千書¹⁾ 川村 藍¹⁾ 川上暢子¹⁾ 菅野重範¹⁾

鈴木匡子¹⁾

¹⁾ 東北大学大学院医学系研究科高次機能障害学 ²⁾ 東京大学大学院医学系研究科神経内科学分野

4. 若年性アルツハイマーとグロストマン症候群

○鈴木麻希¹⁾ ○西尾慶之¹⁾ 高崎昭博²⁾ 平川夏帆¹⁾ 竹田佳世²⁾ 大藏裕平²⁾ 末廣 聖²⁾

森 悦朗¹⁾ 池田 学²⁾

¹⁾ 大阪大学大学院連合小児発達学研究科行動神経学・神経精神医学 ²⁾ 同 医学系研究科精神医学教室

5. 口部顔面失行、閉眼失行などを呈した筋萎縮性側索硬化症疑いの1例

○仁平敦子¹⁾ 坂本芽生²⁾ 向井裕一³⁾ 斎藤雄太⁴⁾ 阿部勇一⁵⁾ 鎌田麻美⁶⁾

¹⁾ 中村記念病院脳神経内科 ²⁾ メディカルコート八戸西病院リハビリテーション部理学療法科

³⁾ 同 作業療法科 ⁴⁾ 同 言語療法科 ⁵⁾ 同 公認心理士 ⁶⁾ 岩手医科大学脳神経内科・老年科

(休 憩)

第3セッション 15:50～16:50 座長 松田 実(いずみの杜診療所)

6. アミロイドアングリオパチーを背景とする左側頭葉後下部出血により

意味性認知症に類似する進行性的意味記憶障害を示した一例

○勝瀬一登^{1, 2)} 矢下大輝²⁾ 柿沼一雄¹⁾ 小川七世¹⁾ 太田祥子¹⁾ 菅野重範¹⁾ 濱田 雅²⁾

戸田達史²⁾ 鈴木匡子¹⁾

¹⁾ 東北大学大学院医学系研究科高次機能障害学 ²⁾ 東京大学大学院医学系研究科神経内科学

7. 糖尿病治療のため超長時間の散歩を習慣化した行動障害型前頭側頭型認知症(bvFTD)剖検例

○石原健司^{1, 2)} 菊池雷太²⁾ 塩田純一²⁾ 吉田真理³⁾ 岩崎 靖³⁾

¹⁾ 旭神経内科リハビリテーション病院 ²⁾ 汐田総合病院 ³⁾ 愛知医科大学加齢研

(休 憩)

特別講演(17:00～18:00)

座長 東北大学大学院高次機能障害学分野 鈴木 匡子

演 題 異なる背景病理を有する意味性認知症の症候と画像および病理分布の比較検討

講 師 川勝 忍 先生(福島県立医科大学会津医療センター精神医学講座教授)

(共催 エーザイ株式会社)

閉会の辞 18:00 東北神経心理懇話会世話人 深津玲子(国立障害者リハビリテーションセンター)